

道北

勉強と実践を積み重ねて 正社員を目指す

旭川市 奨学金受給者

この度は、3年間奨学金を頂き誠にありがとうございました。長きに渡りご支援を頂き心から感謝しております。高校での学業に専念する生活環境ができ、とても充実した3年間を心置きなく過ごせたのも、支給して頂いたお陰です。

中学の頃は自分の本音を伝えるのが苦手で、気持ちを塞いでいる事が多かったのですが、母と相談し通信制高校に入学しました。その中で環境では、担任の先生や友人が親身に寄り添ってくれました。私は現在、近くの病院でパートとして勤務しておりますが、この新しい環境でも、積極的な発言や行動を心がけていられるのは、高校の頃支えてもらった方々の影響が大きいです。

そしてこの高校は、幅広い勉学に力を入れている学校であり、基礎学を学ぶのと同時に、自分の身につけたい分野の知識を追求する事ができました。特に英語表現

と論理は、授業の中で同級生と交流をし、より理解を深められたので、思い入れのある教科です。

高校の頃培った知識や経験、また金銭面、精神面で大きく支えて頂いた方々への感謝を忘れず、これからも過

ごしていきたいと思います。そして女手一つで育ててくれた母へ恩返しをするために、正社員を目指して勉強と実践を積んでいきたいと思います。

夢を応援基金

「ひとり親家庭支援奨学金制度」では、北海道で14名に給付されました。

「夢を応援基金」奨学金

「ひとり親家庭支援奨学金制度」

- 対象 ひとり親家庭の中学3年生、高等学校、高等専門学校(1年生～3年生)等に在籍する生徒
- ①ひとり親世帯(母子家庭、父子家庭)であり就学に関して経済的に困難な生徒
 - ②夢を実現するための意欲があり、社会への貢献を希望している品行方正な生徒
 - ③道母連の会員、及び入会を希望する子ども(生徒)
 - ④道母連理事長が奨学生として推薦するに相応しい生徒

給付額 月額3万円(返済不要)
募集数 全国400名
お問い合わせ 道母連事務局
TEL (011) 261-0447
月～金/午前9時～午後5時

夢と希望に 奨学金を生かす



今春、五稜郭公園にて弟と

道央

高校3年間から 将来へ向けて

当別町 中山 姫良

私の高校での3年間は、本気で取り組むことのできるものを見つけることができた時間でした。私は放送局という部活に所属しており、音声の番組を制作したり、朗読をしたりしていました。同期や先輩、後輩、顧問の先生と協力しながら本気で部活に取り組んだ結

川市、全国大会は東京で開催されており、交通費も宿泊費も多くかかりました。そのためにいただいた奨学金を使い、不安なくこれらの大会に出場することができました。3年間の部活、大会で得られた経験や共に頑張った仲間や先生とのつながりも私にとってかけがえのないものとなりました。

現在、私は公立はこだて未来大学という函館の公立大学へ進学し、システム情報科学を学んでいます。地元である当別町を離れて大学へ行くというのは大変なことも多いですが、その分貴重な経験をさせていただいています。将来は、高校で興味を持った朗読とシステム情報科学を掛け合わせて、朗読を使って高齢者の方を支援したいと考えています。この目標を達成するために、大学生活を頑張っていきたいと思っています。



2022年
高文連放送コンテスト
全道大会朗読部門の様子

果、全道大会、全国大会に進むことができた。全道大会では旭



令和6年度
大学入学式にて